

本年もよろしく

お願いいたします



岩手県職員労働組合
役員一同



1月1日号 (号外)

2018年1月1日 発行

発行日 毎月15日30日
発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内
岩手県職員労働組合
印刷所 盛岡市上田二丁目17-4
有限会社 ジロー印刷企画
一部 40円
組合員購読料は組合費に含む

躍進 2018



新たな歴史の一幕を拓き 運動の前進が実感できる年に!

【写真は本部書記局から見た岩手山】

2018年 今年もよろしくお祈りします

- | | | |
|----------|--------|--------------------------|
| 中央執行委員長 | 小野 演彦 | (盛岡支部・畜産研究所分会) |
| 副中央執行委員長 | 今野 善文 | (花巻支部・花巻保健福祉環境センター遠野市駐在) |
| 副中央執行委員長 | 大崎 勝弘 | (県庁支部・森林保全課分会) |
| 書記長 | 小澤 豊和 | (県庁支部・資源循環推進課分会) |
| 書記次長 | 小原 大 | (盛岡支部・農政部農村整備室分会) |
| 中央執行委員 | 和野 樹史 | (県庁支部・保健福祉企画室分会) |
| 中央執行委員 | 中川 理恵 | (胆江支部・農政部分会) |
| 中央執行委員 | 加藤 邦庸 | (盛岡支部・産業技術短期大学校分会) |
| 中央執行委員 | 右京 隆二 | (盛岡支部・畜産研究所分会) |
| 中央執行委員 | 千葉 守 | (北上支部・中央農業改良普及センター分会) |
| 中央執行委員 | 熊谷 勝文 | (宮古支部・県税室分会) |
| 中央執行委員 | 菊池 圭 | (気仙支部・保健福祉環境センター分会) |
| 中央執行委員 | 佐藤 拓 | (一関支部・保健福祉環境センター分会) |
| 中央執行委員 | 口岩 喜幸 | (盛岡支部・土木部分会) |
| 中央執行委員 | 佐々木 辰治 | (県庁支部・建築住宅課分会) |
| 県庁支部長 | 佐々木 琢磨 | (産業経済交流課分会) |
| 盛岡支部長 | 日戸 秀正 | (林務部分会) |
| 花巻支部長 | 須賀 美奈子 | (土木センター分会) |
| 北上支部長 | 佐藤 喬 | (中央農業改良普及センター分会) |
| 胆江支部長 | 藤村 敏 | (総務部分会) |
| 一関支部長 | 阿部 清佳 | (一関総務センター分会) |
| 気仙支部長 | 及川 英治 | (農林振興センター分会) |
| 釜石支部長 | 川原 淳生 | (土木部分会) |
| 宮古支部長 | 伊藤 貢 | (県税室分会) |
| 久慈支部長 | 藤本 勝彦 | (水産部分会) |
| 二戸支部長 | 中村 康之 | (農林振興センター林務室分会) |

組合員の皆さん、明けましておめでとうございませう。新年を迎え、皆様にとって平穏で心安らげる一年となるようお祈りいたします。

昨年は、県職労結成から70周年を迎え、歴史を振り返り、自信と確信を持って、生活と権利を守り、職場からの運動を再構築し、組織拡大する決意を新たにしました。

さらに確定闘争では、解散総選挙の影響から賃金改善が越年となる懸念が生じたものの、組合員の粘り強い要求で当局を押し戻し、年内改定・差額支給を実現させることができました。しかし、諸手当をはじめ多くの課題が継続となったこと、さらに最大の焦点である退職手当引下げは、1月中旬が交渉ヤマ場と見込まれています。県職労の団結で退職手当引下げに歯止めをかけ、安心して生活できる賃金・労働条件の改善を求めていく必要があります。



中央執行委員長
小野 演彦

また、職場を見ると、依然として大規模な欠員が解消されず、ぎりぎりの職場体制を強いられています。長時間労働が一向に改善されず、メンタルによる病休や早期退職などの事例が後を絶ちません。

職場では「人が足りない」「休暇が取得できない」などの悲鳴が聞こえてきます。しかし、組合員の第一線である職場から要求して声に出し、訴え続けなければ何も変わりません。昨年は獣医師をはじめ、専門職種の処遇改善に向けて、組合員との意見交換を重ね、その結果を要求書にまとめ、交渉していく流れを構築することができました。それぞれの職場・職域の課題の解決に向けて、多くの仲間が結集し、粘り強く改善を求める運動の再構築こそが運動前進の原動力となります。

今年も県職労発足から71年となり、新たな歴史の一幕を拓く年となります。ともに支え合い、一丸となって結集すれば、厳しい難局も乗り越えることができます。70周年で振り返った諸先輩による過去の運動の歴史からも明らかです。

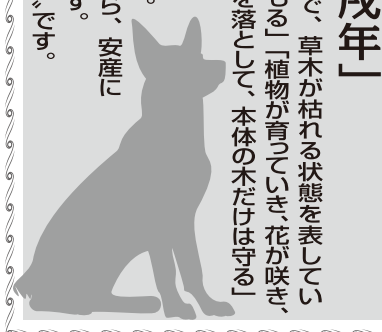
生活・職場改善とともに、私たちが望む社会の実現に向けて、運動前進が実感できる一年にしていきましょう。今年も組合員の皆さんの御協力をよろしくお祈りいたします。

成年の出来事

「戌」は「滅びる」を意味する「滅」で、草木が枯れる状態を表しているという見方がありますが、実際は「まもる」「植物が育ついき、花が咲き、実をつけ食べごろが過ぎた後、自分の実を落として、本体の木だけは守る」という意味があります。

犬は社会性があり、忠実な動物です。人との付き合いも古く、親しみ深い動物。また、犬はお産が軽いとされることから、安産に「戌」は「戌の日」が吉日とされています。

戌の干支の特徴として、勤勉で努力家です。



ふりかえる「成年」

1982年 (昭和57年)

82年は、「退職手当削減」反対と4週5休を条件に「夏期専免3日」廃止阻止のたたかいではじまった。

退職手当削減問題については、早朝集会や座り込み行動、副知事・総務部長交渉など断続的な取り組みにより「激変緩和措置」と夏期専免廃止提案は一時棚上げし継続協議としたことなどを一定評価し、2月議会で退職手当削減条例提案に同意した。



人勧凍結阻止県庁支部早朝集会



県庁前広場での座り込み行動

しかし、当局は7月に廃止を再提案。県職労は、提案撤回に全力を挙げることを確認。断続的に3回の交渉と知事室前の座り込み行動などで提案の撤回を勝ち取った。こうした粘り強い取り組みを経て、現在の夏期休暇「5日間」がある。

人勧凍結をめぐる攻防激しく

8月の人事院勧告は、国公給手について10.715円(4.58%)を4月に遡って実施する勧告を行った。公務員共闘は、速やかに早期の完全実施を政府に要請したが鈴木自民党内閣は「人勧凍結」を決める。10月には県人勧が出され、平均4.57%、10.305円引き上げを勧告。

82確定闘争は「人事院勧告の凍結撤回」「県人事委の凍結撤回」など一定の前進はあったものの、定年退職者の完全補充や通し号俸などの独自課題は具体的な進展を見ることはできなかった。

◆出来事
・東京赤坂の「ホテルニュージャパン」で火災。33人死亡。
・大蔵省、五百円玉硬貨発行
・東北新幹線(大宮〜盛岡間)開業、上越新幹線(大宮〜新潟間)開業

1994年 (平成6年)

1994年は1月4日仕事始めの日の午後、県庁支部の旗開き(県庁12階講堂)ではじまった。

6月に開催された県職労第70回定期大会では、念願の組織内県議の擁立を決め、21世紀に向けて記念すべき大会となった。大会2日目は、伊澤昌弘組織内県議候補も出席して決意を述べた。



県職労第70回定期大会

組織内県議候補としてあいさつする伊澤昌弘さん

宮ノ新湯間 開業
◆流行語
「ネクラ」「ルンロン」「ウッソー・ホンソー・カワイイ」の三語すべての感情を表す若い女性(三語族)等

現業評議会が35回大会と記念レセプション

県職労現業評議会は、盛岡市の国保会館で第35回定期大会と結成35周年を記念してレセプションを開催。35人の代議員が出席した。岩崎勝弥議長は「10年前に480人を数えた現業組合員も今日では251人と半減している」と述べ、常に合理化の矢面に立たされた厳しいたたかいの連続だったが成果も着実にあげてきた。情勢は厳しいが「通し号俸」(独自給料表)、退職者の完全補充など実現へさら



現業評議会第35回定期大会



結成35周年での集合写真

し交流を深める
第19回県職労スポーツ祭典が9月17日、滝沢村産業文化センターで開催された。優勝は、花巻・北上・胆江チーム。夜の交流会では、5年ぶりに再結成された「県職労バンド」の演奏も交流会盛り上げに一役買った。

出来事

・「自社」で村山政権誕生
・松本サリン事件
・大江健三郎さんにノーベル文学賞
・北海道東方沖でM7.9の地震(300人以上が負傷)
・三陸沖でM7.5の地震(青森県中心に282人死傷)

流行語

「価格破壊」「すったもんだがありました」「同情するなら金をくれ」等

2006年 (平成18年)

2006年は、前年の確定闘争から引き続き課題「一般職の賃金カット」阻止の取り組みでたたかいたスタートを切った。

地公共闘は約6000人の座り込みを背景に時澤総務部長との交渉を行い、地域給・給与構造改善、退職手当見直しなどについて撤回を求めた。

しかし、総務部長はあくまで2月議会で関係条例案の提案の姿勢を崩さなかった。一方で、一般職員の賃金カットについては行わないと回答。粘り強い取り組みで一定の成果を勝ち取った。



県職労第95回臨時大会
県職連合労働組合結成大会

◆「査定昇給制度」導入に歯止めを
県当局は、人勧を受けて「査定昇給制度」の4月導入・評価スタートは6月とした。県職労は第93回臨時大会でこの導入に反対を表明した。

◆工業技術センターが労組結成(独立行政法人移行に対応) 新委員長に東矢恭明さん・2006年3月

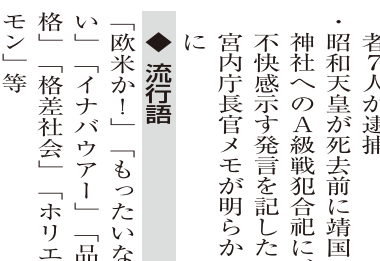
◆県職労と工業技術センター労組との連合体「県職連合」を結成。2006年10月。新たな歴史が始まる

◆「地方分権一括法」附則に規定された経過措置が翌年3月で終了となるため単位労働組合(仮称・岩手社会保険職員組合)を設立。自治労岩手県本部への直接加盟とそのため規約(案)を職場討議に付すことを決めた。

◆06確定闘争最終の総務部長交渉
県職労中央執行委員会は12月議会前、最終となる川窪総務部長との交渉を行った。また、その前段として地公共闘を取り組んだ「知事あて大型ハガキ署名」・「青年婦人部が取り組んだ「子育て

◆出来事
・証券取引法違反容疑でラ イブドアに強制捜査
・耐震強度偽装事件で関係者7人が逮捕
・昭和天皇が死去前に靖国神社へのA級戦犯合祀に、不快感示す発言を記した宮内庁長官メモが明らかになる

◆流行語
「欧米か!」「もったいない」「イナバウアー」「品格」「格差社会」「ホリエモン」等



川窪総務部長

2006年11月16日に行なわれた川窪総務部長との交渉